

**「土浦市まち・ひと・しごと創生 人口ビジョン・総合戦略」策定に係る  
アンケート調査結果報告書（子育て世帯）【速報版】**

**（１）アンケートの実施概要**

調査目的	土浦市が進むべきビジョン・戦略を改めて検討するため、子育て世帯に対して、土浦市の出産・子育て支援に対する素直な評価などについての意向を把握することを目的とする。
調査対象者	18歳未満の子どもがいる世帯の父親又は母親
調査対象者数	1,500人
調査期間	配布：5月31日、回収：6月30日
調査方法	郵送による配布・回収
回収状況	回収数：743票（回収率：49.5%）

■調査項目

分類	設問		回答方式	
回答者自身のこと	問1. あなたの性別は。	問2. あなたの年齢は。	単一回答	
	問3. あなたの御職業は。	問4. お子さまは何人ですか。		
	問5. お子さまの性別は。			
	問6. お子さまの年齢(就学等の状況)は。			
	問7. あなたの世帯構成は。		複数回答	
	問8. あなたの世帯で子育てを主に行っている方(お子さまからみた関係)はどなたか。			
	問9. あなたのお住まいの形態は。			
	問10. 土浦市内にどれくらいお住まいか。			
	問11. 現在、どの地区にお住まいか。			
	子どもの出産	問12. 理想としては、何人のお子さまが欲しいと思うか(思っていたか)。		複数回答
		問13. 問12でお答えいただいた「理想のお子さまの人数」と、「(今後の御予定(御希望)を含めた)実際のお子さまの人数」に違いはあるか。		
問14. 【問13で「1」とお答えの方】「実際」が「理想」より少なくならざるを得ない理由は何か。				
子育て期間中の働き方	問15. 現在の就労状況。		単一回答 (母親が回答)	
	問16. 【問15で「1」、「3」(現在も休業せず就労している)とお答えの方】現在お勤めの職場までの時間(片道の通勤時間)はどのくらいか。			
	問17. 【問15で「3」、「4」(パート等で就労)とお答えの方】フルタイムでの就労を希望するか。			
	問18. 【問15で「5」、「6」(現在就労していない)とお答えの方】就労したいという希望はあるか。			
	問19. 現在の就労状況。		単一回答 (父親が回答)	
	問20. 【問19で「1」、「3」(現在も休業せず就労)とお答えの方】現在お勤めの職場までの時間(片道の通勤時間)はどのくらいか。			
	問21. 【問19で「3」、「4」(パート等で就労)とお答えの方】フルタイムでの就労を希望するか。			
	問22. 【問19で「5」、「6」(現在就労していない)とお答えの方】就労したいという希望はあるか。			
土浦市の子育て環境や子育て支援策	問23. あなたと配偶者以外で、育児を手伝ってくれる人はいるか。		複数回答	
	問24. あなたは、土浦市は子育てしやすいまちだと思うか。		単一回答	
	問25. 土浦市の子育て支援に関わる各施策について、どのように評価しているか。		複数回答	
	問26. あなたが保育所(園)・幼稚園等を選ぶとき、何を重視するか(したか)。			
問27. 今後、土浦市が出生数(出生率)の増加や出産・子育て世帯の転入を促すために、重視すべき取組は何だと思うか。				
子どもの将来の住まい	問28. 将来のお子さまの住まいの「場所」についてどのようにお考えか(男の子、女の子別)。		単一回答	
	問29. 最後に、将来にわたって住みよい活力ある土浦市にしていくための子育て支援策について、あるいは今後のまちづくりの方向性、市の行政全般などについて、御意見・御要望などがある場合は御記入ください。		自由回答	

## (2) アンケートの主な結果

### ■子どもの出産について [問12~問14]

- 理想の子どもの人数は、「**2人**」(49.4%)が最も多かった。[問 12]
- 「理想の子どもの人数」と「実際の子どもの人数」の違いについては、「**「実際」と「理想」は同数**」(47.1%)が最も多く、前回調査(2014年)に比べ、3.3%増加している。また、「**「実際」が「理想」より多い**」についても4.2%増加している一方で、「**「実際」は「理想」より少ない**」が7.5%減少している。[問 13]
- 理想と実際の子どもの人数の違いについて、「**実際**」が「**理想**」より少なくならざるを得ない理由は、「**出産や子育て、教育にお金がかかりすぎる**」(66.1%)が最も多く、次いで「**高齢出産等のリスクが気になる**」(31.3%)、「**自分や配偶者の仕事に差し支える**」(27.0%)の順となっている。前回調査(2014年)に比べ、「**出産や子育て、教育にお金がかかりすぎる**」が3.4%増加するとともに、「**自分や配偶者の仕事に差し支える**」が6.3%増加し、3番目に多くなった。[問 14]

### ■子育て期間中の働き方について [問15~問22]

- 現在の就労状況(母親)は、「**パート・アルバイト等で就労している**」(44.2%)が最も多く、前回調査(2014年)に比べ、6.6%増加している一方で、「**以前は就労していたが、現在は就労していない**」が9.1%減少している。[問 15]
- 現在の通勤時間(母親)は、「**15分以内**」(50.0%)が最も多かった。[問 16]
- フルタイムでの就労希望(母親)については、「**パート・アルバイト等を続けることを希望している**」(54.9%)が最も多く、前回調査(2014年)に比べ、2.8%増加している一方で、「**フルタイムで就労したいが、実現できる見込みはない**」が2.0%減少している。[問 17]
- 就労したいという希望(母親)は、「**すぐの就労は希望しないが、子育てが一段落したら就労したい**」(54.1%)が最も多かったが、前回調査(2014年)に比べ、10.4%減少している一方で、「**今後も子育てや家事などに専念したい(就労の希望・予定はない)**」が6.3%増加している。[問 18]
- 現在の就労状況(父親)は、「**フルタイムで就労している**」(99.1%)が最も多かった。[問 19]
- 現在の通勤時間(父親)は、「**16~30分**」(31.6%)が最も多かった。[問 20]

### ■土浦市の子育て環境や子育て支援策について [問23~問27]

- 配偶者以外で育児を手伝ってくれる人の有無については、「**緊急時・用事がある際には祖父母等の親族に手伝ってもらえる**」(53.6%)が最も多く、前回調査(2014年)に比べ、6.2%増加している一方で、「**日常的に祖父母等の親族に手伝ってもらえる**」が6.3%減少している。[問 23]
- 土浦市が子育てしやすいまちかどうかについては、「**どちらかというと思う**」(41.3%)が最も多く、「**そう思う**」(6.5%)と合わせると、およそ5割の方が土浦市は子育てしやすいまちと考えていることになる。前回調査(2014年)に比べ、「**そう思う**」又は「**どちらかというと思う**」と答えた方が2.6%増加している一方で、「**そう思わない**」が2.2%増加している。[問 24]

### ■土浦市の子育て環境や子育て支援策について [問23～問27]

- 土浦市の子育て支援に関わる各施策についての評価について、「満足」は、「**出産・育児に対する経済的支援**」(14.2%)が最も多く、次いで「母子の健康確保等に対する支援」(13.5%)が多かった。「不満」は、「**夫婦共働きに対する支援**」(14.2%)が最も多く、次いで「出産・育児に対する経済的支援」(11.3%)が多かった。前回調査(2014年)に比べ、「保育サービスの提供」について「やや満足」と答えた方が3.1%増加している一方で、「夫婦共働きに対する支援」について「やや不満」と答えた方が3.6%増加している。[問25]
- 保育所(園)・幼稚園等を選ぶときに重視するものは、「**自宅から近い**」(72.7%)が最も多かった。前回調査(2014年)に比べ、「利用料(保育料)が安い」が4.8%減少している一方で、「職場に近い」が3.8%増加している。[問26]
- 今後、土浦市が出生数(出生率)の増加や出産・子育て世帯の転入を促すために重視すべき取組は、「**妊娠(不妊治療含む)・出産・子育ての経済的負担の軽減**」(56.1%)が最も多く、次いで「安心して出産できる環境の提供(産婦人科など)」(44.6%)、「小児科など子ども向け医療機関の充実」(38.2%)、「公園・児童センターなどの安心して遊べる場の充実」(38.2%)の順となっている。前回調査(2014年)に比べ、「子育て不安解消・相談できる場や機会の充実」が6.1%減少している一方で、「安心して出産できる環境の提供(産婦人科など)」が13.5%増加している。[問27]

### ■子どもの将来の住まいについて [問28～問29]

- 将来の子どもの住まいの「場所」については、男女ともに「**子どもの選択に任せる**」(男の子：**67.5%**、女の子：**56.8%**)が最も多く、前回調査(2014年)に比べ、「子どもの選択に任せる」が男女それぞれ5.1%、5.9%増加している。[問28]
- 将来にわたって住みよい活力ある土浦市にしていくための子育て支援策について、あるいは今後のまちづくりの方向性、市の行政全般などについて、主な内容を下記に示す。[問29]
  - ・ゴミ袋が高すぎる。
  - ・マル福を高校生までにしてほしい。
  - ・小児科・産婦人科が少ない。
  - ・近所に公園を作ってほしい(子どもが安全に遊べる場所がない。)
  - ・通学路の安全確保を徹底してほしい。
  - ・出産、子育てのしやすい町づくりをしてほしい(保育園、学童の充実等)
    - ←時間が短い、土日はやっていない等で共働きには辛い。